

ラオス語の助動詞dâyのパーフェクト的な意味について Perfect of Lao auxiliary verb “dây”

ホーラーヌパーブ シースダー
HOLANOUPHAB Sisouda

Keyword : アスペクト, パーフェクト, している, した, ラオス語, dầy, 動作パーフェクト, 状態パーフェクト

要旨

本論文では、まず、過去テンスと見られるラオス語の助動詞dâyを中心に、コムリー (1976) やマスロフ (1984) などのアスペクトの一般理論や日本語のテンス・アスペクト研究を参考にしながら、dâyのテンス・アスペクト的な意味と用法、特にパーフェクトの意味について検討をした。また、各用法に対応する日本語のテンス・アスペクト形式についても分析した。その結果、dâyは、単純過去の意味だけでなく、パーフェクト的な意味を持つことが明らかになった。

1. はじめに

日本語のテンス・アスペクトは、これまで多くの研究者によってさまざまな視点から研究されているが、テンスやアスペクトを表す形のなかで、もっとも多く研究されていて、日本語学習者にとっても習得が難しいのが「している」である。「している」は、動作継続（「走っている」など）と結果継続（「壊れている」など）という基本的な意味のほかに、派生的な意味としてパーフェクトなどの意味を表すことが明らかにされている。

一方、ラオス語はテンスやアスペクトを表すのに助動詞が使われている。例えば、助動詞yuuが動詞の後ろに置かれると、出来事の継続や進行を表し、助動詞lêwが動詞の後ろに置かれると出来事の完了を表し、助動詞dâyが動詞の前に置かれると出来事の実現¹⁾という意味を表す。このうち、dâyは、「した」や「している」「していた」など、さまざまな日本語のテンスやアスペクトを表す形に訳すことができる。

日本語とラオス語のテンス・アスペクトの対照研究をするには、まず、まだ十分に研究されていないラオス語のテンス・アスペクトについて詳細に記述する必要がある。したがって、本論文では、まず、ラオス語のdâyの各用法に意味的に対応する日本語のテンス・アスペクト的な形について明らかにする。

2. 先行研究

コムリー (1976) は、「パーフェクトはふたつの時点の間の関係を表現している。つまり、一方には先行する場面から結果として生じてくる状態の時間があり、他方には先行する場面そのものの時間があって、パーフェクトはこれらのふたつの時点の間の関係を表現しているのである」とパーフェクトの意味が規定されている。また、同様の規定であるが、マスロフ (1984) は、「パーフェクトと言えるのは、動詞形態、あるいはより広く述語を形式する語結合の意味において、先行する時間と後続する時間という2つの時間局面

1) EnfieldのA grammar of Laoでは、dâyが「達成」あるいは「実現」のマーカールと規定されている (There is a unique slot for a marker of achievement or realization, *dajø*. (Enfield 2008: 231)).

の事柄が融合し、この2つの時間局面に関係する、2つの状況間に何らかの結びつきがある場合である。一般には一方の状況が意味的に重要なものであり、もう一方は付随的状況で、あまりはつきりと示されない場合もある。」と規定している。

コムリー (1976) は、英語を典型的な例として、パーフェクトを4つのタイプに分類している。①結果のパーフェクトは、現在の状態を、過去のある場面の結果として、差し出している。②経験のパーフェクトは、現在までの過去のある期間に一つの場面があったことを表している。③存続する場面のパーフェクトは、過去に始まって現在まで続いている (存続している) 場面を記述するという用法である。④近接過去のパーフェクトは、差し出される過去の場面と現在との関わりが、単に時間的な近接性にすぎないというものである。

一方、マスロフ (1984) は、パーフェクトを状態パーフェクトと動作パーフェクトに分類している。状態パーフェクトは、後続の時間局面に重点が置かれ、起こった変化や動作がもたらす何らかの状態や静的関係が表現される。動作パーフェクトは、先行する時間局面に重点が置かれ、何らかの痕跡や結果を残す動作、ある特徴的な状況をもたらす動作が関心の対象となる。

マスロフの状態パーフェクトはコムリーの結果パーフェクトに対応し、マスロフの動作パーフェクトはコムリーの経験パーフェクトや近接過去のパーフェクトに対応しているようであるが、コムリーの「存続する場面のパーフェクト」は、動作パーフェクトに対応するのか状態パーフェクトに対応するのかわからない。

日本語のパーフェクトの研究では、従来、「している」の意味の一つとして、「あの人はたくさんの小説を書いている。」のような文の表す「経験・記録」という意味がとりだされている。また、広く、「した」には「完了」という意味が認められていた。こうした意味をまとめ、パーフェクトとしてはじめて詳細に検討したのが工藤 (1989) である。工藤 (1995) は、現代日本語のパーフェクトについて、シテイル (シテイタ) 形式は、テンスから相対的に自立したかたちで、パーフェクト的意味を表しているのに対して、シタは、〈現在パーフェクト〉しか表せないと指摘している。

次に、それらと対照するラオス語の助動詞 *dây* について、いくつかの研究を紹介する。Wright (1996) では、ラオス語の *dây* には3つのものがあるとされている。一つ目は「過去」あるいは「完了した動作」を表すアスペクトマーカであり、つねに他の動詞の前に置かれる。二つ目は「得る」という意味の動詞であり、これは本動詞としての用法である。三つ目は、「機会」「能力」というモーダル動詞であり、これも、つねに他の動詞の前に置かれる。したがって、モーダル動詞とアスペクトマーカは、文の同じ位置に置かれるため、混乱しやすい。実際の使用では、どちらも頻繁には使われておらず、また、文脈によって意味が明確になる。また、Enfield (2008) は、動詞の前に置かれる *dây* を Achievement marker (達成マーカ) と規定している。

このように、*dây* が本動詞か助動詞か、また助動詞の場合は、動詞の前に置かれるか後に置かれるかによって、*dây* の意味は異なってくる。そして、動詞の前に置かれる *dây* は、文脈によってアスペクト的な意味を表したり、ムード的な意味を表したりすると考えられている。本論文は、*dây* の表すテンス・アスペクトとパーフェクトの意味を体系的に明らかにすることを目的とする。そして、それらの意味・用法に対応する日本語のテンス・アスペクトの形式について検討する。

3. 研究方法

dây の用例は、ラオス語の標準語とされているビエンチャン方言で書かれている自然なラオス語の小説、『*ໄຮ້ກມີສູດຫົວໃຈ* ハックニースットフアチャイ (この愛は心底より)』と『*ຮອຍພະຍານາກໂຍໂປຍານາກ* (パヤナーク²⁾の跡)』という現代の短編小説集から主に用例を収集した。また、その他、インターネットからの

2) 「パヤナーク」とは、神話に登場するメコン川にいる蛇神のこと。

ニュース・記事, SNSにおけるチャットからの用例, 筆者自身による作例も使われている。分析方法については, コムリー (1976) やマスロフ (1984) などのロシアやヨーロッパのアスペクト研究にアスペクトの一般理論を学ぶとともに, 日本語のテンス・アスペクトの研究も参考にしながら, *dây* のテンス・アスペクト的な意味と用法, 特にパーフェクトの意味を分析する。そして, 各用法に対応する日本語のテンス・アスペクトの形式について分析する。

4. 分析と結果

dây の形は, 先行研究でも明らかにされているように, 「*dây*+名詞句 (NP)」「動詞句 (VP)+*dây*」「*dây*+動詞句 (VP)」の3つがある。

「*dây*+名詞句 (NP)」のように, *dây* の後に名詞句 (NP) が置かれると, *dây* は, 本動詞としての用法となり, 物事を「得る, 手に入れる, 獲得する」という意味を持つ。お金や車などのような具体的なものを得ることも, 成績の順位や能力などの抽象的なものを得る・獲得することも表すことができる。

1) *khây* ***dây*** *ngón* (作例)

私 *dây* お金

私はお金を得た (お金をもらった)。

2) *lúuk* ***dây*** *thíi 1* (作例)

子供 *dây* 1 位

私は1位を取った。

dây は, 「動詞句 (VP)+*dây*」のように, 動詞句 (VP) の後に置かれると, 「できる」という可能の意味を表し, 動詞句の実現可能性を表す助動詞となる。物事を獲得するという意味から文法化し, 能力や可能性の獲得となり, 可能の意味を表す。この可能の意味は, 能力可能 (例3) と状況可能 (例4) に分けられ, さらに, 許可などの派生的な意味にもなる (例5)。

3) *láaw* *lóoy nám* ***dây*** (作例)

彼 泳ぐ できる

彼は泳ぐことができる。(作例)

4) *khây* *pây* ***dây*** (作例)

私 行く できる

私は行ける。

5) *kín* ***dây*** *dào* (作例)

食べる できる よ (文末詞)

(きみは) 食べられるよ (食べてもいいよ)。

「*dây*+動詞句 (VP)」のように, 動詞句 (VP) の前に置かれる *dây* は, 基本的に, 出来事の実現を表すが, ムード的な意味を表すこともある。このムード的な意味は, 主語にさし出される主体の意志に関わらず動作が実現したという意味であり, 「～することになる, ～なければならない」といった必要性や不可避性の意味を表すものと言える。

6) *máa* *hôtot* *lao* ***dây*** *sĩa* *khaa* *lot* *pây* *hoon héem* 50

来る 着く ラオス *dây* 払う 費用 車 行く ホテル 50

phán *kíp*

千 キープ

ラオスに着いたら、ホテルまでの交通費5万キープを支払うことになった。

(チャットからの例)

物事を獲得する本動詞dâyは、動詞句 (VP) の前の位置において、「出来事の獲得」という意味を派生し、以下のようにテンス・アスペクト的な意味やパーフェクト的な意味を表すようになる。

4.1 dâyのテンス的な意味

動詞の前に置かれるdâyは、出来事が実現したという意味を表す助動詞となり、過去というテンス的な意味を表す。

7) khòy dây thóo hãa muu (作例)
私 dây 電話する に 友達
私は友達に電話した。

発話時から見れば、過去の動作となるので、dâyは過去を表す助動詞と言える。しかし、ラオス語では、過去の出来事を表すのに、必ずしもdâyは必要ではない。dâyがなくても、過去を表す時間名詞があれば、その文は、出来事が過去において実現したことを表すのである。次の例は、dâyがついていない文だが、時間名詞により、出来事が過去において起こったことを表している。しかし、助動詞dâyが使われていないと、発話時との関係は切り離されている。

8) pĩ ka:j ?aa:j khòy teej nãan (作例)
去年 兄さん 私 結婚する
去年、私のお兄さんが結婚した。

4.2 dâyのアスペクト的な意味

dâyは、先行研究では「完了した動作」や「達成」「実現」を表すとされていたように、動作の内的な時間構造の表し分けであるアスペクト的な意味としては、継続性と対立する「ひとまとまり性」(非分割性)を表すと言えるだろう(奥田1977参照)。次にあげる例は、「完了」「達成」「実現」など、さまざまなニュアンスを持つ意味を表しているようだが、いずれにしても、継続性の意味がなく、動作の展開過程を部分に分割せずひとまとまりにとらえるひとまとまり性を表すと言える。

9) nap teɛ tòn pĩ máa nii c̣iin lac thanakháan phatthanáa asíi dây
から 今年の初め 中国 と 銀行 開発 アジア dây

huam kãan celacãa kiaw káp kãan pɔɔy nɔn kuu yuutum hà:y
参加する 交渉 について ローン あげる

khóoŋ kãan thii míi múun kha 1980 lâan dolãa sahalat
プロジェクト (関係代名詞) ある 価値 1980 百万 ドル

今年の初めから、中国とアジア開発銀行は、19億8千万ドルの価値があるプロジェクトに資金を貸与することについての交渉会議に参加しました。

(ニュース)

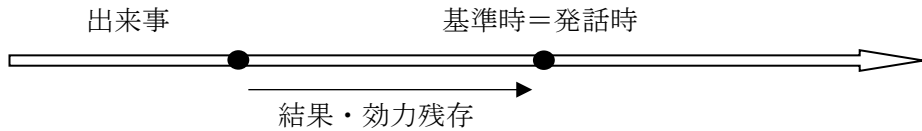
4.3 dâyのパーフェクト的な意味

dâyは、単なる過去を表すだけでなく、先行する出来事が基準時に結果や効力を残すという何らかの関係づけを表しているというパーフェクトの意味も持つ。現在パーフェクトでは、dâyが使われることによって、先行して起こった出来事が発話時に結果や効力を残すという関係づけを表す。例10では、主人公の顔に火傷ができた経緯を説明したものである。最初と二番目のdâyは、過去の連続した出来事を表すのに対して、最後のdâyは、顔に火傷をした出来事が現在でも傷という結果として残っているという現在パーフェクトを表している。

10) lâŋ cəak	pōŋ kán	bot vithayaniphón	lêew	náy	khúuun	múuu diaw kan			
後	発表する	論文	(完了)	中	夜	日	同		
nân	nô:ŋ	káp	muu	<u>dây</u>	pháa kan	kíam	salǒŋ	phǒn sam let	
その	私	と	友達	dây	一緒に	準備する	祝う	成功	
nô:ŋ	<u>dây</u>	tɛɛŋ kǐn	yuu	huan khua	náy	hǒ phak	fáy	<u>dây</u>	
私	dây	料理する	で	キッチン	中	寮	火	dây	
luk mày	luak	băy nàa	khǒŋ	nô:ŋ					
発火する	やけど	顔	の	私					

論文の発表が終わった後、その日、成功をお祝いするために私と友人は一緒にお祝いの準備をした。私は寮のキッチンで料理をした。燃え上がった火で私は顔にやけどをおった。

(ハックニーストフア)



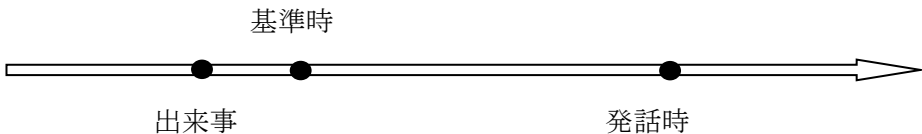
(図 1)

過去パーフェクトの場合、dâyは、過去の基準時に先行して出来事が起こるという先行性を表す。例11は、主人公が「何かいう」という出来事が生じる過去の基準時に対して、「彼女が話す」という出来事が先行して起こったことを表すのに、dâyが使われている。

11) koon	khòy	ca	kaaw	nǎŋ	ʔǒk	păy,	náaŋ	<u>dây</u>	wâw	tát nàa
前	私	ca	言う	何	出す	行く	彼女	dây	話す	先に
khòy	păy	koon	waa							
私	行く	前	と							

私が何かいう前に、彼女は先にこのように言っていた。(略)

(ハックニーストフア)



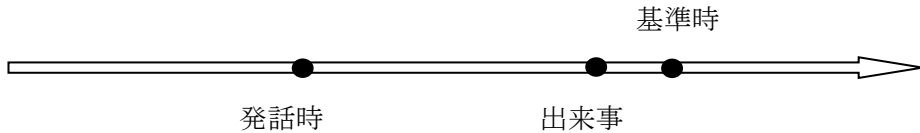
(図 2)

未来の出来事を表す文にdâyが使われると、未来の基準時の前に出来事が実現したことを表すとともに、すでに決定している未来の出来事の予定や予想というムード的な意味を表すこともある。例12は、dâyのつく動詞の表す動作が、「私が卒業したとき」という未来の基準時の前に既に実現したという意味を表す未来

パーフェクトの意味にもなれるし、その動作が未来において実現するという予想がすでに成立しているというムードの意味を表すこともできる。

- 12) tǝn khòy hían cóp, câw khúuu si dây pen nak múay
 時 私 勉強する 終わる あなた だろう dây なる ボクサー
 múuu ʔaasíp (作例)
 プロ

- a. 私が卒業したとき、あなたはもうプロボクサーになっているだろう。
 b. 私が卒業したとき、あなたはプロボクサーになるだろう。



(図 3)

以上で dây がパーフェクト的な意味を表すことは明らかになったが、それでは、そのパーフェクト的な意味は、マスロフによるパーフェクトの分類では、どのタイプのパーフェクトの意味になるだろうか。上にあげたパーフェクトの例は、dây が、後続する状態を明確には表していないため、すべて動作パーフェクトと見られる。

dây が、後続する時間的局面上に重点が置かれた状態パーフェクトの意味を表しているような例は、なかなか見つけられない。しかし、次の例は、変化の結果を表している。基準時における結果的な状態のほうに重点があるため、この例は状態パーフェクトと言えるだろう。

- 13) phiaŋ tɛ 7 pii Vientiane dây pian sǝm pǎy yaan
 だけ 7 年 ビエンチャン dây 変わる 形 いく のよう
 boɔ nǎa sua
 (否定) 信じる

たった7年で、ビエンチャンは信じられないぐらい変化した(変化している)。

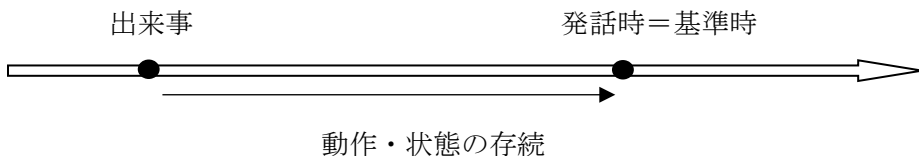
(ハックニーストフア)

日本語の「窓があいていた」のような、出来事の結果的な状態を表す状態パーフェクトと言えるような例は dây にはほとんどないため、dây は主に動作パーフェクトを表すと考えられる。

次の例は、dây が、基準時に何らかの結果を残していることを表すのではなく、出来事が、先行する時点から基準時まで続いていることを表しているので、コムリーによって分類された存続パーフェクト (inclusive perfect) を表すものと言える。動作パーフェクトは、先行する出来事時点で重点があるのに対して、状態パーフェクトは、後続する基準時に重点があるのだが、存続のパーフェクトは、その二つの時点両方とともに、そのあいだの過程に重点があるものと言える。

- 14) khòy dây hían phasaã jipun tâŋ tɛ pii 2011 (作例)
 私 dây 勉強する 言語 日本 くる から 年 2011

- a. 私は2011年から日本語を勉強してきた(今もまだ勉強している)。



(図 4)

ただし、存続のパーフェクトを表すためには、*dây*とともに、「*nap tɛɛ*～ (～から), *taŋ tɛɛ*～ (～以来)」などのような開始時点を表す従属節や、現在に向かう時間的な方向性を表す「～*máa* (～てきた)」などが必要である。これらがないと、例15のように、存続パーフェクトを表さず、単に過去の出来事を表すこと(例15a)になるか、あるいは、その出来事が現在に関係づけられ、日本語が話せるなどの結果や効果が現在に残っているという現在パーフェクト(例15b)を表すことになる。

15) *khòy* *dây* *hian* *phasǎa* *nipun* *pīi* 2011 (作例)

私 *dây* 勉強する 言語 日本 年 2011

- a. 私は2011年に日本語を勉強した (今は勉強しているかどうかは示されていない)。
- b. 私は2011年に日本語を勉強している (だから、日本語が話せる)。

4.4 パーフェクトに見られる*dây*と日本語のパーフェクトについて

*dây*は、現在、過去、未来、すべてのテンス的な意味において、パーフェクトを表すことができる。それぞれのテンスに現れる*dây*は、次のような日本語の表現に対応している。状態パーフェクトは、はっきりと状態パーフェクトを表すと認められる例がないため、△とした。

	現在パーフェクトの <i>dây</i>		過去パーフェクトの <i>dây</i>		未来パーフェクトの <i>dây</i>	
	状態パーフェクト	動作パーフェクト	状態パーフェクト	動作パーフェクト	状態パーフェクト	動作パーフェクト
した	△	○	-	-	-	-
している	△	○	-	-	△	○
していた	-	-	△	○	-	-

(表 1)

表1のように、現在パーフェクトの*dây*は、日本語の「した」と「している」と意味的に対応している。*dây*が動作パーフェクトを表す場合は、「した」と「している」どちらにも対応すると考えられるが、本論文の例ではすべて「した」で訳されている。これは、現在パーフェクトの*dây*が話し言葉の用法なので、話し言葉で使われる「した」のパーフェクトにはよく訳されるが、書き言葉でもに使われる「している」のパーフェクトには訳しにくいと考えられる。*dây*の状態パーフェクトは、結果性がそれほど明確ではないため、結果的な状態を表す「している」には対応しにくく、変化を表す動作の「した」に対応する。また、当然、「していた」は現在パーフェクトを表さないので、現在パーフェクトの*dây*と対応せず、過去パーフェクトの*dây*は、過去パーフェクトを表す「していた」だけに対応する。そして、未来パーフェクトの*dây*は、「している」の表すパーフェクトに対応する。日本語の「した」に関しては、終止の述語の位置では、現在パーフェクトしか表せないため、未来パーフェクトの*dây*とは対応していない。

4. まとめと今後の課題

dâyは、本動詞としての用法である物事を「得る、手に入れる、獲得する」という意味から、動詞句の後に置かれると、能力可能や状況可能などの意味を表し、さらに、許可などの派生的な意味にもなる。また、dâyが動詞句の前に置かれると、「出来事の獲得」のような意味となり、テンス・アスペク的な意味とムード的な意味を表す助動詞へと文法化している。

dâyはテンス的な意味としては過去の意味を表す。ただし、ラオス語は、過去の意味は、dâyのような助動詞がなく、述語動詞が無標形式でも、時間名詞だけによって、表すことができる。一方、アスペク的な意味としては、出来事の「実現」「完了」「達成」などの意味、一般的に言えば「ひとまとまり性」が表される。出来事の「終了状態」を表すlêewに対して、dâyは、出来事の終了という段階ではなく、出来事をひとまとまりのものとしてとらえた「実現性」を表す。

また、dâyはパーフェク的な意味も持つ。現在テンスにおけるdâyのパーフェク的な意味は、先行して起こった出来事が発話時に結果や効力を残すという何らかの関係づけを表し、過去パーフェクの場合、dâyは、その過去の基準時に先行して起こった出来事を表す。そして、未来パーフェクの場合、dâyは、未来の基準時の前に出来事が実現したという先行性を表す。なお、この場合、未来の出来事の予定や予想というムード的な意味を表すこともある。

dâyは、後続する時間的の局面に何らかの結果や効力を残すという意味においてパーフェクを表すと言えるのだが、重点が、結果や効力をもたらす先行する動作に置かれ、それが関心の対象となっているという動作パーフェクを主に表すようである。変化を表す動詞と一緒に使われている場合、状態パーフェクのように解釈できる例もあるが、日本語の「結婚している」のように、後続する結果的な状態に重点を置かれる典型的な状態パーフェクの例はあまり見られない。

dâyは、また、存続のパーフェクも表す。動作パーフェクは、先行する出来事時に重点があるのに対して、状態パーフェクは、後続する基準時に重点があるのだが、存続のパーフェクは、そのあいだの過程に重点があるものと言える。ただし、存続のパーフェクを表すためには、「naptee ~ (～から)、tântee ~ (～以来)」などのような開始時点を表す従属節や、現在に向かう時間的な方向性を表す「~maa (～てきた)」などが必要である。

日本語との対照においては、現在パーフェクのdâyは「している」「した」と、過去パーフェクのdâyは「していた」と、未来パーフェクのdâyは「している」と対応する。

本論文は、dâyのさまざまな意味、特にパーフェクの意味を明らかにした。しかし、日本語との対照では、dâyの各用法によって対応する日本語の形式しか明らかにされていないので、日本語との対照は不十分である。ラオス語と日本語のテンス・アスペク体系を対照するためには、今後、日本語「した」「している(していた)」を再検討しながら、まだ取り上げていないラオス語の他の助動詞も検討する必要がある。

参考文献

- 奥田靖雄 (1977) 「アスペクの研究をめぐって—金田一的段階—」『宮城教育大学国語国文』8, pp.51-63, 宮城教育大学国語国文学会
- 金田一春彦 (1950) 「国語動詞の一分類」『言語研究』15, pp.48-63, 日本言語学会
- 工藤真由美 (1989) 「現代日本語のパーフェクをめぐって」『ことばの科学・3』むぎ書房
- (1995) 『アスペク・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
- (2014) 『現代日本語ムード・テンス・アスペク論』ひつじ書房
- 鈴木玲子 (2002) 『CDエクスプレス ラオス語』白水社
- (2019) 『ニューエクスプレスプラス ラオス語』白水社
- (2010) 「ラオ語のアスペク」『語学研究所論集』15, pp.316 - 321, 東京外国語大学語学研究所
- 須田義治 (2010) 『現代日本語のアスペク論—形態論的なカテゴリーと構文論的なカテゴリーの理論』ひ

つじ書房

- タサニー・メーターピスィット・坂田睦深・アルニー・チュンシリウイロート (2000) 「タイ人日本語学習者のアスペクト表現」『日本語とアジア諸言の作文対訳コーパス—対照言学・日本語教育への応用—』 pp.81-94, 国立国語研究所
- ラッタナセリーウォンセンティアン (2014) 『日本語とタイ語のアスペクト形式に関する研究』 博士論文, 大阪大学
- ラッチャニーピヤマーワディー (1981) 「日・タイ語におけるテンスとアスペクトの比較対照—「〜ル」「〜タ」「〜シテイル」「〜シテイタ」について—」『日本語教育』 44, pp.81-88, 日本語教育学会
- ユーリー・S・マスロフ (2018) 『アスペクト論』 (林田理恵 & 金子百合子, Trans.) ひつじ書房
- Boualy他 (2015) の『ພາສາລາວສຳລັບຄົນຕ່າງປະເທດ (外国人のためのラオス語)』 ラオス国立大学
- Comrie, B. (1989) *Language Universals and Linguistic Typology: Syntax and Morphology*. University of Chicago Press.
- N. J. Enfield (2008) *A grammar of Lao*. Mouton grammar library 38. Berlin: Walter de Gruyter.
- Pingkharn SYSOUVAN, 他 (2000) 『Waynyakonelaopatchuban phaakthiiII (現代ラオス語文法第2章)』 Ministry of Education of Laos.
- Wright, P. S. (1996) *A Lao grammar for language learners*. TU-SIL-LRDP, Thammasat University.

用例出典

- ນ້ອຍ ວິດຊຸນລະດາ ノイ・ヴィッスンラダー (2016) 『ຮັກນີ້ສຸດຫົວໃຈ ຫັກນີ້ສຸດສູ່ຟາາໝາຍໄຊ (この愛は心底より)』 ສຳນັກພິມນັກປະພັນລາວ ລາອສ ຂ່າວສານ ສຳນັກພິມນັກປະພັນລາວ ລາອສ ຂ່າວສານ
- ສຳນັກພິມນັກປະພັນລາວ ລາອສ ຂ່າວສານ (2017) 『ຮອຍພະຍານາກໂປຍາປາຍາກ (ປາຍາປາຍາກຂີ້)』 ສຳນັກພິມນັກປະພັນລາວ ລາອສ ຂ່າວສານ